

事業報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

I 公益事業

報告本文以外の各事業に係る対象等の概要は、附属明細書に記載したとおりである。
また、助成事業に係る報告書は、HPに掲載した。

1 研究事業

(1) パチンコ・パチスロ遊技障害に関する調査研究（P7 附属明細書参照）

パチンコ・パチスロ遊技障害研究会は、新型コロナウイルス感染防止のため、4月、5月の開催を中止したが、Web会議システムを整備し、6月17日に再開、1月27日までの間、計10回（通算71回）開催し、全国調査データやパネル調査データの分析を行い、問題プレイヤーの自力改善の実態、遊技障害を抱えるプレイヤーに係るパーソナリティ特性等、パチンコ・パチスロ遊技障害の予防・低減要因を探る分析を行い、研究論文を作成、投稿を行った。

論文としては、

- 全国の遊技者の各種ギャンブルへの参加傾向をまとめた論文が、『Journal of Gambling Issues』誌(カナダ)第46号に
- パチンコ・パチスロ遊技の問題を抱えると自認している人について、その割合と特徴に関する論文が、『健康支援』（日本健康支援学会）第23巻第1号に

掲載された。

また、これまでの研究成果をまとめた最終報告書を作成し、3月上旬に、『パチンコ・パチスロ遊技障害 研究成果 最終報告書』として刊行した。この報告書は、内閣府、警察庁、地方自治体、関係医療機関、研究者等に送付するとともに、当財団ウェブサイトにも掲載した。

(2) 「子供・女性に対する犯罪被害の防止に関する調査研究」及び「シンガポール警察におけるロボット等に関する調査研究」

2020年度の研究事業として、警察庁生活安全企画課等と協力して行うことを計画した

- 公共空間において行われる子供・女性に対する性犯罪等の前兆事案等について調査研究する「子供・女性に対する犯罪被害の防止に関する調査研究」
- 地域警察官の業務の合理化省力化のためのロボット、AIの活用について調査研究する「シンガポール警察におけるロボット等に関する調査研究」

は、いずれも、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、福岡県、シンガポールでの現地調査が困難であったことから、2020年度における実施を中止した。

両事業とも、2021年度に延期し、3月9日に開催された第25回理事会で承認された。

2 安全事業

- (1) 第29回全国小学生作文コンクール「わたしたちのまちのおまわりさん」の実施
(P7 附属明細書参照)

全国の小学生から低学年の部と高学年の部合わせて、2,938点の作品が寄せられ、その中から42点の優秀作品を選出し、うち14点について、2020年12月19日、都内において全国表彰式(新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、例年より規模を縮小して実施)を行った。

また、優秀作品をまとめた作文集「わたしたちのまちのおまわりさん29」を2021年2月19日に発行し、受賞者に贈呈するとともに、全国の警察署等に配布した。

(読売新聞社、(公社)全国少年警察ボランティア協会との共催)

- (2) 社会安全フォーラムの開催 (P8 附属明細書参照)

電気通信サービスの高度化・多様化により、プリペイド式携帯電話、レンタル携帯電話、SIMカード等多様なサービスが提供されるようになってきている。それらの電話サービスが、非対面で会話ができる特性から、特殊詐欺等の犯罪ツールとして悪用されてきた。このような状況に対して、各種の規制がなされたものの、それらの規制に対応して悪用の形態もまた変化してきた。

こうした情勢を踏まえ、法曹界、民間事業者、警察等から専門家を招聘し、「犯罪ツール対策の現状と課題について—犯罪に利用される電話への対策を中心に—」と題したフォーラムを開催した。

フォーラムにおいては、特に近年特殊詐欺において悪用が目立つ固定電話番号を利用する転送電話サービスについて、各方面からの現状分析、卸元事業者による本人確認義務の強化等の対策の提案等、多角的な議論が展開された。

なお、例年は、会場に聴衆の参加を得て開催しているフォーラムであるが、2020年度は、オンデマンド方式によるオンラインでのフォーラム開催となった。

フォーラムは、講演とパネルディスカッションの二部に分けて収録を行い、講演は、2020年11月19日から、パネルディスカッションは、2020年12月7日から、2021年1月15日までの間、YouTube「警察政策研究センター公式チャンネル」で配信した。

(警察政策研究センターとの共催)

3 助成事業

- (1) 研究助成 (P9～10 附属明細書参照)

安全問題に関する領域を研究対象としている研究者等に対する助成を行った。

① 2019年度研究助成

2019年度研究助成(一般研究助成4件、若手研究助成5件、交付額合計13,653,940円)は、2020年9月30日に助成期間が終了する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令され、対面

による調査が計画通りに進まなくなったこと等から、助成期間延長の要望があり、第24回理事会において、研究助成事業実施規程を改正し、一般研究助成4件中3件、若手研究助成5件中4件について、6か月から1年6か月の助成期間の延長を認めた。

一般研究助成1件、若手研究助成1件は、2020年9月30日に終了し、一般研究助成1件は、2021年3月31日に終了した。

② 2020年度研究助成

2020年度は、一般研究助成4件、若手研究助成5件に助成金(交付額合計11,829,800円)を交付した。

助成期間については、2021年9月30日に助成期間が終了する予定であるが、新型コロナウイルス蔓延の影響により、延長申請があり、一般研究助成4件中1件、若手研究助成5件中5件について、それぞれ5か月から1年6か月助成期間の延長を認めた。

(2) 広域安全事業に対する助成の実施 (P11 附属明細書参照)

国際間及び国内において複数の都道府県にわたって行われる犯罪の予防活動・少年非行防止・被害者支援等の活動を対象とする各種事業に対して助成を行った。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2事業が中止となった。また、大幅な事業の縮小が1事業あったが、その他は活動方法の変更(オンライン対応への切り替え)等で事業を遂行し、当年度の事業助成(14事業19,695,149円)は、当年度中に結了した。

(3) 県域安全事業に対する助成の実施 (P11 附属明細書参照)

1つの都道府県の域内において、複数の市町村にわたって行われる前記(2)記載の活動を対象とする各種事業に対して助成を行った。

新型コロナウイルス感染拡大による活動制限の影響を受けた団体もあるが、活動方法の変更(オンライン活動への切り替え)等で事業を遂行し、当年度の事業助成(4事業、助成金総額2,319,170円)は、当年度中に結了した。

(4) 暴力団排除事業に対する助成の実施

地域の住民団体による暴力団事務所進出阻止・撤去活動に対する助成を通年募集した。当年度は、助成申請がなかった。

(5) 大規模災害発生時における防犯活動緊急支援助成の実施

大地震、大水害等大規模な自然災害が発生した時に、危険回避のために住民が長期間避難した地域において、地域住民等で構成される団体による防犯活動を支援するため防犯活動に必要な資機材に係る助成を募集する制度であるが、当年度は、対象となる災害の発生はなく助成募集は行わなかった。

また、発生時に助成を迅速に行えるように、防犯活動を行う団体の事前登録を通年募集

し、10 団体から再登録申請があったほか、1 団体から新たに登録申請があり、いずれも登録した。

4 学会賛助

次の 5 学会に対する賛助を行った。

賛助会費 30 万円：警察政策学会

賛助会費各 20 万円：日本犯罪学会、日本犯罪社会学会、日本犯罪心理学会、
法と精神医療学会

II 収益事業

当財団定款第 5 条の規定に基づき、公益目的事業等に必要な財源を得るため、当財団が保有する産業財産権の提供事業（自主及び委託運用）を行った。

III 財産の運用・管理

1 基本財産の一部処分

第 23 回理事会(2020 年 3 月 6 日開催)及び第 24 回理事会(同 8 月 5 日開催)並びに第 11 回評議員会(同 8 月 25 日開催)において、2020 年度内に基本財産の一部を処分する件(金額 1 億円)につき承認決議がなされたが、承認を受けたうちから、2020 年 9 月 3 日には、3 千万円を、また、2021 年 3 月 12 日には、5 千万円(174 回共同発行市場公募地方債)を基本財産から処分し、合計 8 千万円を手持ち資金に移管した。

2 満期償還となった公債の買い替え

2020 年度中に満期償還となった公債はなく、公債の入れ替えは行わなかった。

IV 事務の概要

1 会議・各種選考委員会の開催状況 (P12～13 附属明細書参照)

(1) 理事会

① 第 24 回理事会 (2020 年 8 月 5 日)

② 第 25 回理事会 (2021 年 3 月 9 日)

(2) 評議員会

第 11 回定時評議員会 (2020 年 8 月 25 日)

(3) 産業財産権運用審議委員会

2021 年 1 月 19 日

(4) 研究助成選考委員会

2021年2月1日

(5) 安全事業助成選考委員会

2021年1月25日

2 主要事業日誌

2020年

4月1日	水	2020年度大規模災害時防犯活動緊急助成公募開始 2020年度暴力団排除事業助成公募開始
4月7日	火	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発出(東京都等7都府県が対象。4/7~5/25)
4月8日	水	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発出により、第62回パチンコ・パチスロ遊技障害研究会延期
4月9日	木	應和監査法人下期監査(~4/13)
6月11日	木	第29回全国小学生作文コンクール「わたしたちのまちのおまわりさん」公募開始(~9/11)
6月17日	水	應和監査法人期末監査(~6/19) 第62回パチンコ・パチスロ遊技障害研究会(Web会議方式)
7月8日	水	監査法人による監事への監査結果報告、監事による業務監査
7月22日	水	第63回パチンコ・パチスロ遊技障害研究会(Web会議方式)
8月5日	水	第24回理事会
8月21日	金	内閣府への2019年度分事業報告・収支決算報告
8月25日	火	第11回定時評議員会
8月26日	水	第64回パチンコ・パチスロ遊技障害研究会(Web会議方式)
9月1日	火	2021年度安全事業助成公募開始(~10/15)
9月23日	水	第65回パチンコ・パチスロ遊技障害研究会(Web会議方式)
9月24日	木	監査法人による監事・専務理事に対する監査方針説明
10月9日	金	第29回全国小学生作文コンクール最終審査開始(~10/20)
10月12日	月	應和監査法人上期監査(~10/14)
10月21日	水	第66回パチンコ・パチスロ遊技障害研究会(Web会議方式)
11月1日	日	2021年度研究助成公募開始(~11/30)
11月5日	木	2021年度安全事業助成申請団体からのヒアリング(~11/17)
11月11日	水	第67回パチンコ・パチスロ遊技障害研究会(Web会議方式)

11月19日	木	社会安全フォーラム「犯罪ツール対策の現状と課題について～犯罪に利用される電話への対策を中心に～」(YouTube 利用によるオンデマンド方式での Web 開催) 第一部配信 開会挨拶・講演 (～2021/1/15) 第二部配信 パネルディスカッション(12/7～2021/1/15)
11月25日	水	第68回パチンコ・パチスロ遊技障害研究会(Web 会議方式)
12月16日	水	第69回パチンコ・パチスロ遊技障害研究会(Web 会議方式)
12月19日	土	第29回全国小学生作文コンクール「わたしたちのまちのおまわりさん」表彰式
12月22日	火	内閣府公益法人行政担当室立入検査

2021年

1月6日	水	第70回パチンコ・パチスロ遊技障害研究会(Web 会議方式)
1月7日	木	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言再発出(東京都等5都県が対象。1/8～3/21)
1月19日	火	産業財産権運用審議委員会
1月25日	月	安全事業助成選考委員会(Web 会議方式)
1月27日	水	第71回パチンコ・パチスロ遊技障害研究会(Web 会議方式)
1月28日	木	警察政策研究センターからの提案事業に関するヒアリング(Web 会議方式)
2月1日	月	研究助成選考委員会(Web 会議方式)
3月4日	水	『パチンコ・パチスロ遊技障害 研究成果 最終報告書』刊行
3月9日	火	第25回理事会(財団事務所及び Web 会議方式)
3月17日	水	内閣府への2021年度事業計画・収支予算報告

事業報告の附属明細書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

I 公益事業

1 研究事業

(1) パチンコ・パチスロ遊技障害に関する調査研究 敬称略

氏名	所属・職名等 (2020.4.1現在)
牧野暢男	当財団理事 日本女子大学名誉教授
河本泰信	医療法人社団 正心会 よしの病院副院長 精神科医
坂元 章	お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系 教授
佐藤 拓	成瀬メンタルクリニック 院長
篠原菊紀	公立諏訪東京理科大学工学部 教授
西村直之	認定NPO 法人リカバリーサポート・ネットワーク代表理事 精神科医
石田 仁	当財団主任研究員

2 安全事業

(1) 第29回全国小学生作文コンクール「わたしたちのまちのおまわりさん」の実施

公募期間：2020年 6月11日～同年9月11日

表彰式：2020年 12月19日 読売新聞社（千代田区）

賞の種別	受賞者数		賞品	副賞 図書カード(円)
	低学年	高学年		
内閣総理大臣賞	各1	各1	表彰状 盾	50,000
国務大臣・国家公安委員会委員長賞				30,000
警察庁長官賞				各20,000
読売新聞社賞				
日工組社会安全研究財団賞				
全国少年警察ボランティア協会賞				
審査員特別賞				10,000
優秀賞	14	14	表彰状	5,000

作文集の発行：作文集「わたしたちのまちのおまわりさん29」を1,800部発行し、受賞者、全国の警察署等に配布した。

- (2) 社会安全フォーラム「犯罪ツール対策の現状と対策について～犯罪に利用される電話への対策を中心に～」

開催：YouTube 利用によるオンデマンド方式によるオンラインでの開催

第一部配信 開会挨拶・講演 (2020/11/19～2021/1/15)

第二部配信 パネルディスカッション (2020/12/7 ～2021/1/15)

主催：警察政策研究センター、当財団

後援：(公財) 公共政策調査会、警察政策学会、(一財) 警察大学校学友会

<プログラム>

講演

杉本 伸正 (警察庁刑事局捜査支援分析管理官)

「犯罪に利用される電話への対策～経緯と今後の課題～」

土沼 恒之 (NTT ビジネスアソシエ株式会社リビング事業部法人営業部門サービスセンタ担当課長)

「特殊詐欺に悪用される電気通信(電話)の現状と対策」

尾崎 毅 (日本弁護士連合会民事介入暴力対策委員会委員長)

「弁護士から見た犯罪インフラ対策～転送電話対策を中心に～」

奥田 真滝 (一般財団法人電気通信事業者協会調査部長)

「特殊詐欺に利用された固定電話番号の利用停止等スキームについて」

井原 龍二 (一般社団法人テレコムサービス協会 MVNO 委員会消費者問題分科会 主査)

「MVNO の不正利用防止対策」

パネルディスカッション

上記講演者

コーディネーター 森内 彰 (警察政策研究センター所長)

3 助成事業

(1) 研究助成

研究助成対象者、研究テーマ等の概要は、次表のとおりである。

① 2019年度研究助成

2019年度 研究助成 実績

<一般研究助成>

五十音順 (単位:円)

	研究代表者	所属	研究テーマ	交付額	最終助成額	助成期間延長
1	越智 啓太	法政大学文学部 教授	男性のDV被害認知プロセスと対処方略に関する研究	870,000	870,000	
2	四方 光	中央大学法学部 教授	児童を害する越境サイバー犯罪捜査手法の研究	2,900,000	—	2021年9月30日まで
3	仲野 由佳理	日本大学文理学部人文科学研究所 研究員	矯正施設からの社会復帰における当事者参加型多機関連携体制の構築に関する研究	3,000,000	3,000,000	2021年3月31日まで
4	松井 豊	筑波大学人間系 教授	認知的加齢に関する心理学研究に基づく特殊詐欺予防講習の開発	2,337,000	—	2022年3月31日まで

一般研究助成額合計 9,107,000 3,870,000

<若手研究助成>

	氏名	所属	研究テーマ	交付額	最終助成額	助成期間延長
1	大江 将貴	京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程	非行少年の「立ち直り」における復学のプロセス	1,000,000	—	2021年9月30日まで
2	大原 天青	国立武蔵野学院 厚生労働技官	非行領域における家族合同ミーティングの実践と効果検証	1,000,000	—	2021年9月30日まで
3	小山田 建太	筑波大学大学院人間総合科学研究科 博士後期課程	事業変遷下における地域若者サポートステーション事業の支援意義に関する研究	612,440	612,314	
4	金 ジャンディ	大阪大学大学院法学研究科 特任助教	家庭内暴力の加害者対策に関する比較研究—日米の治療プログラムを中心に	1,000,000	—	2021年9月30日まで
5	讃井 知	筑波大学大学院システム情報工学研究科 博士後期課程	高齢者の犯罪被害防止にむけた自助・共助を促進する情報の活用方策	934,500	—	2021年9月30日まで

若手研究助成額合計 4,546,940 612,314

一般・若手研究助成額合計 13,653,940 4,482,314

② 2020 年度研究助成の実施

2020年度研究助成 交付額

<一般研究助成>

五十音順 (単位:円)

	研究代表者	所属	研究テーマ	交付額	助成期間延長
1	小畑 千晴	岡山県立大学 地域共同研究機構 客員准教授	ストーカー行為未然防止のための調査研究	950,000	
2	桐生 正幸	東洋大学社会学部 教授	未就学児に対する妖怪を用いた防犯教育絵本の作成 - SNSが関わる犯罪予防を中心に -	2,905,000	
3	古川 隆司	追手門学院大学社会学部 准教授	高齢者をめぐる家族内殺人のアフターケアと社会復帰に関する福祉・介護事業者に対する実態調査研究	600,000	
4	山脇 望美	名古屋大学大学院教育発達科学 研究科 研究員	自閉スペクトラム症傾向の性犯罪者の子どもへの性的関心に関する研究	2,573,000	2022年3月31日まで

一般研究助成額合計 7,028,000

<若手研究助成>

	氏名	所属	研究テーマ	交付額	助成期間延長
1	今井 聖	立教大学文学研究科 博士課程後期課程	子どもの自死をめぐる事実認定とその補償に関する研究	1,000,000	2022年9月30日まで
2	谷 真如	法務省東京保護観察所 保護観察官 筑波大学大学院システム情報工学研究科 博士前期課程	刑務所出所者の居住地の地理空間情報を用いた再犯予測モデルの構築	998,700	2022年3月31日まで
3	唐 音啓	東京大学大学院教育学研究科 博士課程後期	中学生の集団いじめ予防に関連する要因の検討 - 学級の「人気者」に注目して -	803,500	2022年3月31日まで
4	星 あづさ	法務省矯正局名古屋刑務所 心理技官	性犯罪者における女性への攻撃性および社会的情報処理について ~愛着スタイルとの関連から~	999,600	2023年3月31日まで
5	山梨 光貴	中央大学大学院法学研究科 博士課程後期課程	犯罪者の社会復帰を阻害する要因およびその克服に関する研究	1,000,000	2022年2月28日まで

若手研究助成額合計 4,801,800

※ 一般・若手研究助成額合計 11,829,800

(2) 広域安全事業に対する助成の実施

2020年度における助成対象団体、事業名等の概要は、次表のとおりである。

(単位:円)

事業の分類		団体名	事業名	交付額 (予定額を含む)	最終助成額
女性等を守る対策	1	認NPO エンバフメントかながわ	デートDV電話相談事業および相談員養成事業	1,600,000	1,582,075
	2	(一社)Colabo	虐待、性犯罪被害女子の保護・自立支援及びシェルター運営事業	2,520,000	2,520,000
	3	認NPO 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ	DV・性暴力被害女性と子どもの支援及びシェルター運営事業	1,820,000	1,820,000
	4	NPO BOND プロジェクト	10代20代女性の犯罪被害防止事業	500,000	500,000
	5	NPO レイブクライシスセンターTSUBOMI	性暴力被害者の支援事業	600,000	22,714
少年の非行防止と健全育成	6	(一財)青少年問題研究会	季刊誌「青少年問題」の刊行	1,600,000	1,544,560
	7	(公社)全国少年警察ボランティア協会	全国少年警察学生ボランティア研修会 (事業中止)	2,500,000	0
	8	NPO 全国不登校新聞社	不登校・いじめの専門紙『不登校新聞』の発行と無償送付事業	1,220,000	1,016,368
薬物乱用防止対策	9	NPO アジア太平洋地域アディクション研究所	薬物事犯者に対する回復支援コーディネート事業	1,400,000	1,400,000
	10	NPO 全国薬物依存症者家族会連合会	薬物問題に係わる民間団体活動の活性化	980,000	589,432
	11	(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動啓発資材の作成	1,400,000	1,400,000
犯罪被害者支援	12	(公財)犯罪被害者支援基金	犯罪被害者等支援のための小冊子及びポスターの作成配布	1,000,000	1,000,000
出所者の再犯防止対策	13	NPO マザーハウス	刑事施設経験者が社会で生きる力をつける再犯防止プログラム	2,300,000	2,300,000
犯罪情勢に対応した対策	14	(公財)公共政策調査会	第28回海外安全対策会議 (事業中止)	2,150,000	0
	15	(公財)全国防犯協会連合会	防犯CSR活動促進冊子作成事業	3,000,000	3,000,000
	16	NPO 全国万引犯罪防止機構	万引・内部不正防止を目的とした従業員教育用冊子の制作と配布	1,000,000	1,000,000
広域安全事業(16件) 合計				25,590,000	19,695,149

注:団体名の略称は、下記のとおりである。

(公財)…公益財団法人 (公社)…公益社団法人 (一財)…一般財団法人 (一社)…一般社団法人

認NPO…認定特定非営利活動法人 NPO…特定非営利活動法人

(3) 県域安全事業に対する助成の実施

2020年度における助成対象団体、事業名等の概要は、次表のとおりである。

(単位:円)

		団 体 名	事 業 名	交 付 額	最 終 助 成 額
地域社会との連携による安全・安心なまちづくり	1	NPO SoELa (神奈川県)	高校生、大学生によるエンタテインメント安全啓発事業の実施	130,000	130,000
	2	NPO チーム・スピリット (大阪府)	「還付金詐欺撲滅」および「自転車前かごカバー」普及活動	500,000	489,170
女性等を守る対策	3	認NPO ひこばえ (群馬県)	DV等被害女性と子どもの一時保護における安全と安心の支援	700,000	700,000
出所者の再犯防止対策	4	NPO 風の家 (広島県)	矯正施設出所者の社会生活維持のための宿所提供事業	1,000,000	1,000,000
県域安全事業(4件) 合計				2,330,000	2,319,170

注:団体名の略称は、下記のとおりである。

認NPO…認定特定非営利活動法人 NPO…特定非営利活動法人

IV 事務の概要

1 会議・各種選考委員会の開催状況

(1) 理事会

○ 第24回理事会 (2020年8月5日開催)

報告事項

- 1 第23回理事会 (2020年3月6日開催) 以降の主な業務推進状況について

決議事項

- 1 2019年度事業報告及び附属明細書の件
- 2 2019年度貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録の件
- 3 基本財産の処分及び除外に関する規程一部改正の件
- 4 基本財産の一部を処分する件
- 5 基本財産の一部を処分する件
- 6 会計監査人の報酬等の件
- 7 就業規則一部改正の件
- 8 育児・介護休業等に関する規程一部改正の件
- 9 研究助成事業実施規程一部改正の件
- 10 2021年度安全事業助成募集要項の件
- 11 第11回定時評議員会の開催日時及び場所並びに目的である事項等の件

○ 第25回理事会 (2021年3月9日開催)

報告事項

- 1 第24回理事会 (2020年8月5日開催) 以降の主な業務推進状況について
- 2 基本財産の一部を処分した件について
- 3 内閣総理大臣による立入検査の結果について

決議事項

- 1 2021 年度通常実施権実施料の件
- 2 2021 年度事業計画書及び収支予算書等の件
- 3 評議員選定委員会に推薦する評議員候補者名簿登載人数の件
- 4 第 12 回定時評議員会に定款の一部を改正する議案を提案する件
- 5 第 12 回定時評議員会に提出する理事候補者名簿登載人数の件
- 6 事務局長及び事務局次長の定年延長の件

(2) 評議員会

○ 第 11 回定時評議員会（2020 年 8 月 25 日開催）

報告事項

- 1 2019 年度事業報告及び附属明細書の件
- 2 2019 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録の件
- 3 2020 年度事業計画書及び収支予算書等の件
- 4 第 22 回理事会（2019 年 6 月 25 日開催）の決議について
- 5 第 23 回理事会（2020 年 3 月 6 日開催）の決議について
- 6 第 24 回理事会（2020 年 8 月 5 日開催）の決議について

決議事項

- 1 基本財産の一部を処分する件
- 2 基本財産の一部を処分する件
- 3 役員及び評議員の報酬及び費用に関する規程一部改正の件

(3) 産業財産権運用審議委員会（2021 年 1 月 19 日開催）

- 1 2021 年度における産業財産権の取得に関する件
- 2 2021 年度における通常実施権実施料に関する件
- 3 2021 年度における通常実施権許諾対象会社に関する件

(4) 研究助成選考委員会（2021 年 2 月 1 日開催）

2021 年度研究助成対象者の選考

(5) 安全事業助成選考委員会（2021 年 1 月 25 日開催）

2021 年度広域及び県域安全助成対象事業の選考